

江戸川区立小岩第五中学校における緊急時対応マニュアル

場面	対象	地震発生	安全確保	1次避難	安全確認	予想される二次災害	2次避難	安全確認	情報収集 被害状況把握	保護者へ連絡・引き渡し	防災拠点機能
授業中	校長・副校長		<緊急放送で安全確保の指示> <テレビ・ラジオ等で地震警報等の確認と最新情報入手>	統轄本部設置 校長・副校長は、校長室（職員室）で指揮 <緊急放送で全校避難を指示>	<人数と安否確認> 担任（教科担任） 学年主任 副校長 校長 周囲の被害状況の把握 二次避難の準備・計画 負傷者の確認と手当 生徒の不安緩和 病院等の医療機関との連携	 	<安全な場所への避難指示> 校舎から離れた場所 近隣の公園 地域防災拠点 ■事前に場所を決めておく	<人数と安否確認> 担任（教科担任） 学年主任 副校長 校長 周囲の被害状況の把握 負傷者の確認と手当 生徒の不安緩和 病院等の医療機関との連携	<教育委員会指導室へ連絡> (第1次報告に変更がある場合) <区災害対策課へ連絡> 災害用 PHS の活用	<統轄本部で情報収集> 学校周辺の被害状況 公共交通機関等の運行状況 携帯電話への接続状況 保護者への連絡方法の確認	<区役所との連携> <防災拠点運営の支援>
	教職員		<的確な指示> 「頭部をまもれ」 「机の下にもぐれ」 「机の脚をもて」 「安心するような声かけ」	<校庭へ避難誘導> 出席簿・学級別生徒名簿等の携帯 配慮を要する子どもへの対応 トイレ、特別教室等に生徒が残っていないか確認	<1次避難状況を教育委員会指導室・災害対策課へ報告> (災害用 PHS) ☐☐ 総務部・施設管理部・避難誘導部活動開始 ☐☐ 救護衛生部・物資部 活動開始		<安全な場所へ避難誘導> <的確な情報を与え、落ち着くように指示> ☐☐ 総務部・施設管理部・避難誘導部活動継続 ☐☐ 救護衛生部・物資部 活動継続	<役割分担に従って行動> 学校、地域の被害状況把握 (通学路等も・・・) ライフライン、公共交通機関の状況 負傷者への対応 危険箇所の確認と立入禁止の表示 不安を訴えている子どもへの対応 (養護教諭中心に)	保護者へ連絡 電話による連絡 緊急連絡網等 学校メール配信システムによる連絡 連絡とれた → 連絡とれず ↓ 保護者に引き渡し / 留め置き	支援開始 ・待避場所の確保 ・食糧の確保 ・保護者への連絡継続	
	生徒		<揺れがおさまるのを待つ> 机の下にもぐり、落下物から身を守る	<落ち着いて移動> カバン等で頭部を保護しながら上履きのまま移動 <おかしもの約束> おさない かけない しゃべらない もどらない	<負傷者がいる場合は助け合う> 勝手な行動をとらない 私語をつつしむ		<落ち着いて移動> カバン等で頭部を保護しながら上履きのまま移動 教員の指示に従い、急いで集合場所へ移動	<負傷者がいる場合は助け合う> 勝手な行動をとらない 私語をつつしむ	<避難場所で静かに待つ> <指示に従って、帰宅準備を行う>	<下校> 保護者への引き渡し 集団下校 留め置き 震度5強以上：保護者引き取り (学校待機) 震度5弱以下：原則下校 (学校待機)	・待避場所の確保 ・食糧の確保 ・保護者への連絡継続
大地震発生 警報発表	校長・副校長		<揺れがおさまるのを待つ> 高層ビル等からの落下物に注意 ブロック塀、自販機から離れ、頭部を保護	統轄本部設置 校長・副校長は、校長室（職員室）で指揮	<安否確認> <1次避難状況を教育委員会指導室へ報告> (災害用 PHS)		校舎倒壊・火災発生 <校舎等からできるだけ離れた場所への避難指示> 校舎から離れた場所 近隣の公園 地域防災拠点	<人数と安否確認> 担任（教科担任） 学年主任 副校長 校長 周囲の被害状況の把握 負傷者の確認と手当 生徒の不安緩和 病院等の医療機関との連携	<教育委員会指導室へ連絡> (第1次報告に変更がある場合) <区災害対策本部へ連絡> 災害用 PHS の活用	<統轄本部で情報収集> 学校周辺の被害状況 公共交通機関等の運行状況 携帯電話への接続状況 保護者への連絡方法の確認	<区役所との連携> <学校教育事務所との連携> <防災拠点運営の支援>
	教職員		小岩五中避難所設	<生徒の所在確認> 校内を確認 通学路（公園等）を確認 避難場所を確認	<情報収集> 学校に登校生徒の確認 帰宅した生徒の安否確認 校内施設被害状況の把握 危険箇所の立入禁止措置		<的確な情報を与え、落ち着くように指示> ☐☐ 総務部・施設管理部・避難誘導部活動継続 ☐☐ 救護衛生部・物資部 活動継続	<役割分担に従って行動> 学校、地域の被害状況把握 (通学路等も・・・) ライフライン、公共交通機関の状況 負傷者への対応 危険箇所の確認と立入禁止の表示 不安を訴えている子どもへの対応 (養護教諭中心に)	保護者へ連絡 電話による連絡 緊急連絡網等 学校メール配信システムによる連絡 連絡とれた → 連絡とれず ↓ 保護者に引き渡し / 留め置き	支援開始 ・待避場所の確保 ・食糧の確保 ・保護者への連絡継続 ・不安を抱えた生徒	
	生徒		<揺れがおさまるのを待つ> 高層ビル等からの落下物に注意 ブロック塀、自販機から離れ、頭部を保護	<安全な場所へ避難> 揺れが収まる → 近い方に避難（保護者が不在の場合は学校へ） 学校 校庭等、安全な場所に避難 自宅 帰宅した場合は、学校へ連絡	<負傷者がいる場合は助け合う> 勝手な行動をとらない 私語をつつしむ		<学校> 教員の指示に従い、落ち着いて行動する カバン等で頭部を保護しながら上履きのまま移動 <自宅> (保護者とともに) 落ち着いたら、広域避難場所へ	<負傷者がいる場合は助け合う> 勝手な行動をとらない 私語をつつしむ	<避難場所で静かに待つ> <指示に従って、帰宅準備を行う>	<下校> 保護者への引き渡し 集団下校 留め置き	・待避場所の確保 ・食糧の確保 ・保護者への連絡継続 ・不安を抱えた生徒
校外学習等	校長・副校長		<安全確保を最優先> 地形や滞在場所の状況を判断し、安全確保を指示 公共交通機関を使用している場合は乗務員の指示に従う	<揺れがおさまるのを待ち、安全な場所への移動を指示>	<学校へ連絡し、状況を報告、指示を受ける> <地元の公共機関等へ連絡し、救援要請を行う>	 	<地元公共機関等の指示を受け、近隣ビルの最上階又は近くの丘陵地への避難誘導> <学校へ詳細を連絡し、指示を受ける>	<人数と安否確認> 周囲の被害状況の把握 負傷者の確認と手当 生徒の不安緩和 地元病院等の医療機関との連携	<学校における今後の対応策の検討> 現地からの報告を受け、教育委員会指導室に報告 保護者へ連絡 ・現状の説明（安否についても） ・帰校方法等について 現地から帰校させる交通手段等の手配 地元公共機関への応援要請 現地への教職員派遣		
	教職員		<揺れがおさまるのを待つ> 安全な場所へ退避させる>	<生徒を安全な場所へ移動させる> <公共交通機関を使用している場合は、乗務員の避難指示に従う>							県外（特に自然教室、修学旅行等）で校外活動中に、江戸川区内で大規模地震に伴う被害がでた場合は、学校または教育委員会指導室・災害対策課に連絡し、具体的な指示を受けてから活動する。
	生徒		<揺れがおさまるのを待つ> 高層ビル等からの落下物に注意 ブロック塀、自販機から離れ、頭部を保護	<安全な場所へ避難> 教員や公共交通機関の乗務員の避難指示に従う 教師とはぐれた時は、動かず、その場で待つ	<負傷者がいる場合は助け合う> 勝手な行動をとらない 私語をつつしむ		<教員や地元の方々の指示に従う> 落ち着いて行動する 勝手な行動はとらない 教師とはぐれた時は、地元の方々の指示に従う				